

トルクメニスタンのアザディ外  
国語大学の学生と一緒に。前列  
中央が松下さん



### 松下 訓子 (経営2)

「シルクロードを歩」にはカスピ海が隣接して  
くをテーマに1年間、  
ウズベキスタン、トルク  
メニスタンについて調べ  
た集大成として、佐竹教  
授ら14人が2月13日から  
約2週間、フィールドワ  
ークで現地を  
訪れた。

成り立たせている「天然  
資源」であった。街中に  
は街灯や建物がイルミネ  
ーションのように光り輝  
き、噴水があちらこちら  
で見られた。そのほかに  
もどこかのミュージアム  
か劇場かと思わせるくら  
いの大きさの建物がいた

## 街を彩る豊かな天然資源

トルクメニスタンは国  
土面積48万8100平方  
キロメートル。西  
トルクメニスタンは国  
土面積48万8100平方  
キロメートル。西  
トルクメニスタンは国  
土面積48万8100平方  
キロメートル。西

現地の人にとっては外  
国人が珍しいらしく、写  
真をよくせがまれた。現  
地の学生との交流では、  
分け隔てなく、お互いが  
お互いを理解しようとい  
ふ本語でコミュニケーション  
を必死に取ろうとしあ

## 佐竹ゼミ

08年度教養ゼミの佐竹弘靖ゼミ  
ナール「シルクロードを歩く」で、  
ウズベキスタン、トルクメニスタ  
ンの文化・歴史を調査した学生の  
代表から、2週間にわたるフィー  
ルドワークの報告が届いた。



### 木村幸太郎 (商4)

今回の旅では多くの遺  
跡、美しい景色を見るこ  
ろができた。各地にはイ  
スラム教の教会とも言え  
るモスク(寺院)がいた  
るところにあり、そのど  
れもが日本では見ること  
のできない建築様式であ  
り、歴史を感じ  
させる美しい建  
物ばかりであっ  
た。中でもウズ  
ベキスタンのサ  
マルカンドで見たグリー  
・アミール廟の透き通る  
ような青さには時を忘れ  
て見入ってしまった。

人大学生は私たち専大生  
が初めてのことだっ  
た。訪れる前はそんな情  
報から一まつの不安があ  
ったが、実際に訪れる  
と、その手厚い歓迎ぶり  
に驚かされた。

### 感動 ウズベキスタン

## 壮大で美しい遺跡やモスク

語大学生との文化国際交  
流はとても貴重な経験と  
なった。トルクメニスタ  
ンは、前政権では独裁政  
策をとっており、外国と  
の交流がほとんどなく、  
現地の大学を訪れた外国  
を案内してもらうなどし

ながら交流を深めてい  
た。中でも大学の全学生  
の前で文化紹介の一環と  
して、日本の歌を披露  
し、大きな拍手をもらっ  
た時は、大きな感動を受  
けた。

## 関根ゼミ

### 韓国・ソウル ゼミ研修報告

マーケティングを専攻する商学部  
の関根孝ゼミ生か  
ら、ソウルでのゼミ研修の報告が  
届いた。なお詳細な体  
験記は、7月発行の「育友」に  
掲載される予定。

関根ゼミ17人(現3年  
次生)は、3月2日から  
5日まで、韓国ソウルを  
訪れ、在来市場、百貨店、  
新しいタイプの駅ビル型  
ショッピングセンターな  
どを見学した。すべて地  
下鉄と徒歩で回  
ったことで、街  
の表情を直接見  
ることができ、  
また地元の人々  
と触れ合うとい  
う収穫があっ  
た。



東大門市場の卸集積を見学中

### 注目のショッピングセンター

## 新機軸の「駅ビル」型を視察

東大門市場 国全土で1500近くあ  
る在来市場は、近代的な  
チェーンやオンラインシ  
ョッピングなどの影響で  
あり、大通りに  
低迷しているため、政府  
はそれぞれの特徴に応じ  
て対応している。

今回の訪問の目玉は、  
今年9月、地下鉄「往十  
里(ワンシムニ)駅(地  
下鉄2号線、5号線、国  
鉄中央線の3路線の結節  
駅)に新しくオープンし  
た駅ビル「BIPPLE  
X」である。専門店モ  
デル「Enter6」、

Eマート、カフェやレス  
トラン、国内最大級の映  
画館、室内ゴルフ場など  
が入っている複合モール  
ビルだ。駅前にはさまざ  
まなイベントが行える広  
場も整備されていた。  
ウォン安の影響で、シ  
ョッピングは充実してい  
たが、施設内の雰囲気や  
ブランド構成などを含  
め、「全体的な楽しさ」  
に欠ける感じがした。開  
店間もないことを考える  
と平日の午後とはいえず  
閑散としていたことが気  
になった。韓国では鉄道  
は地下鉄中心ということ  
もあり、日本のような駅  
前というコンセプトが  
希薄で、駅前開発と一体  
になったショッピングセ  
ンターの開発は少なかつ  
たという。その意味で「B  
IPPLEX」の今後に  
注目したい。

韓国は新しいものをど  
んと取り入れて進化  
し、活気に満ちあふれて  
いる街が多いと感じた。  
世界に対する目を開か  
せてくれた充実した合宿  
の経験を生かし、海外の  
街づくりやマーケティング  
を勉強して、それぞれ  
の共通点や違いについて  
考えてみたい。

(代表執筆: 小山航ノ佐  
藤詩織)



東大門市場「ミリオレ」前で。  
前列左から3人目が関根教授

た支援策を  
講じている  
とのことだ  
ある。  
東大門市  
場は、アパ  
レルの発注  
があること  
で納品可  
能というこ  
とで(短リ  
ードタイム  
と云う)、  
迅速に品ぞ  
ろえができ  
ることが長  
所だが、消  
費欲求は高  
級化・個性化しており、  
ニーズと品質との間にか  
なる顔をもった独特の商  
品が並ぶ。



今回の訪問の目玉は、  
今年9月、地下鉄「往十  
里(ワンシムニ)駅(地  
下鉄2号線、5号線、国  
鉄中央線の3路線の結節  
駅)に新しくオープンし  
た駅ビル「BIPPLE  
X」である。専門店モ  
デル「Enter6」、  
山田美沙子  
(ミョンドン)のユニクロ

- ほかの参加ゼミ生  
赤川 享平 安 善熙  
飯島 萌 大嶋 麻水  
河原 聡史 葛谷 葵  
窪田 理沙 澤木 菜絵  
寺地 亮 平川 倫弓  
松尾 信宏 松本 浩和  
室岡 春佳 山口 沙織  
山田美沙子  
(ミョンドン)のユニクロ